

年	できごと
1897 (明治30)	札幌農学校(現北海道大学)調査団入地して地質調査を行う。
1898 (明治31)	札幌農学校第八農場を設け看守所を開く(学田一区)。
1899 (明治32)	国有林23,794町歩東京帝国大学農学部配属される。山部に中内弥重吉が入地。(食料品店開店、山部停車場の建築請負。)札幌農学校の開発施業計画が立てられる。
1900 (明治33)	下富良野～鹿越間の鉄道開通。山部駅営業開始。東京帝国大学総長菊地大麓、演習林内を視察。
1901 (明治34)	山部駅開業。橋本長吉・河原秀吉・登友吉の3戸が22線に入地し開拓が始まる。
1902 (明治35)	呉服店・雑貨店が開業し市街地らしい形がとられ始めた。
1903 (明治36)	東京帝国大学演習林が立木の払下げを始める。
1904 (明治37)	山部市街地に簡易教育所が設置。山部中央地区、山部北星地区に初期入植者入地。
1905 (明治38)	山部の戸数が百戸となる。真宗大谷派の説教所開設。
1906 (明治39)	山部簡易教育所を山部尋常小学校と改称。山部神社社殿造営。鉄工所開設。
1907 (明治40)	真宗本願寺派の説教所開設。料理屋が開業。
1908 (明治41)	水稻の試作を行う。薬屋・小間物屋・魚屋・浴場などが開業。
1909 (明治42)	山部郵便局設立。
1910 (明治43)	山部小学校の第一分教場開設。山部巡査駐在所設置。
1911 (明治44)	山部小学校の第二分教場開設。澱粉製造のため、3工場開業。
1912 (明治45) (大正元)	尋常小学校を尋常高等小学校と改称。医院開業。製材工場開設。運送店・劇場が開業。
1913 (大正2)	東京帝国大学演習林派出所庁舎を山部市街地に移設。富良野～滝川間の鉄道開通で、山部から滝川まで直通する。
1914 (大正3)	山部市街地2丁目で大火、用水路なく商店街全焼する。
1915 (大正4)	山部村が分村し戸長役場が置かれる。山部村役場庁舎を建設。曹洞宗説教所開設。
1916 (大正5)	3組の私設消防組が設置。
1917 (大正6)	天理教宣教所が開設。
1918 (大正7)	公設山部消防組合認可。水田用かんがい溝掘削。防火用水工事着工。
1919 (大正8)	北海道に二級町村制施行、二級村となる。山部村議会議員12人の選挙が行われる。
1920 (大正9)	大本教山部分会所開設。
1921 (大正10)	北海道帝国大学農学部の指導で300町歩の開田事業開始。
1922 (大正11)	大洪水で田畑の被害甚大。木工所開業。
1923 (大正12)	北海道帝国大学第八農場が護岸工事に着手。
1924 (大正13)	山部市街地に電灯がつく。
1925 (大正14)	牝牛40頭が導入。山部市街地に忠魂碑建設。御料地(現28線地先)農家に払下げられる。
1926 (大正15) (昭和元)	山部郵便局、電信電話業務事務取扱開始。家畜診療所開設。
1927 (昭和2)	真言宗分教会開設。
1928 (昭和3)	大本教北海別院設置。山部郵便局で電話交換業務開始。北海道帝国大学第八農場内の道路が村に移管。
1929 (昭和4)	山部村開村15周年記念式。山部市街地に電話が架設。山部第一・第二尋常小学校となる。山部木工場創業。
1930 (昭和5)	森林防火組合設立。

年	できごと
1931 (昭和6)	東京帝国大学演習林事務所に乗用車フォード導入。
1932 (昭和7)	
1933 (昭和8)	水害田畑被害を受ける。山部村公会堂を建設(山部公民館の前身)。
1934 (昭和9)	光円寺に季節託児所開設。冷害凶作。
1935 (昭和10)	冷害凶作。
1936 (昭和11)	山部市街地2丁目で大火(5戸全焼)。
1937 (昭和12)	大本北海別院が解散を命じられる。
1938 (昭和13)	ノザワスレート会社で石綿の試掘を行い、北海道石綿開発株式会社設立(現ノザワとして存続)。山部石綿鉱山の開発。
1939 (昭和14)	野沢石綿工場操業開始。山部石綿工場設立。
1940 (昭和15)	山部村より東山村分村する。町内会6、部落会16が設置される。
1941 (昭和16)	太平洋戦争始まる。山部尋常小学校を国民学校と改める。町内会・部落会が組織化される。
1942 (昭和17)	野沢石綿工場操業開始。山部石綿生産開始。山部村健康保険組合が設立。
1943 (昭和18)	山部木工場が東洋企業株式会社に買収される。東京帝国大学演習林苗圃に温室が新設。
1944 (昭和19)	農村電化点灯式。
1945 (昭和20)	太平洋戦争終わる。開拓地の入植計画策定。野沢鉱山に労働組合が結成。
1946 (昭和21)	開拓地入植者11名入地。北海道農業会経営の山部厚生病院開院。山部文化連盟結成。山部農村建設連盟結成。
1947 (昭和22)	国民学校が小学校に改められる。山部新制中学校が開校。第1回山部農民運動会開催。北海道大学第八農場の解放運動が始まる。
1948 (昭和23)	山部農業協同組合創立。山部農協羊毛加工工場、家畜診療所開設。
1949 (昭和24)	山部中学校第二期工事落成。
1950 (昭和25)	北海道大学農場、農地解放記念式典。東京大学演習林第1次農地解放。
1951 (昭和26)	北1丁目の大火(焼失13戸)。山部村弘報(後の広報)発行開始。社会福祉協議会結成。山部村連合P.T.A.結成。富良野信用金庫連絡所開設。
1952 (昭和27)	山部村衛生組合設立。村内橋梁名を統一。第1回山部村民運動会。
1953 (昭和28)	山部商工会設立。山部第1回労働文化祭開催。
1954 (昭和29)	町内会・部落会の行政組織できる。山部村公民館開館。
1955 (昭和30)	芦別岳と東京大学樹木園が道立公園に指定。世界連邦平和都市宣言。
1956 (昭和31)	山部村土地改良区設立。交通安全協会山部支部設立。新生活運動の趣旨により公民館結婚式始まる。
1957 (昭和32)	南陽・北星分館に季節保育所開設。公営住宅「青い鳥」団地20戸落成。
1958 (昭和33)	ユーフレ温水溜池完成。山部中学校校舎完成。
1959 (昭和34)	富良野町との合併は行わないことを議決。18線温水溜池完成。山部地区労働組合結成。
1960 (昭和35)	山部村商店協同組合設立。中央・北星・南陽の老人クラブ開設。
1961 (昭和36)	母子健康センター開設。山部農協事務所と店舗新築。
1962 (昭和37)	台風9号・10号の集中豪雨による大災害(水害)。三倉産業があめ工場操業開始。

年	できごと
1963 (昭和38)	山部大橋完成。霊葬場完成。
1964 (昭和39)	空知川上流土地改良区発足。山部石綿工場全焼。山部中央季節保育所開設(現山部保育所)。山部厚生病院の新築工事落成。芦別岳と幾春別岳を結ぶ登山ルート完成。
1965 (昭和40)	山部町制施行。初代町長に日野政史就任。住民センター工事完成。山部開基50周年記念式典。
1966 (昭和41)	富良野町と山部町が合併し、5月1日から富良野市となる。第1回商工祭開催。
1967 (昭和42)	富良野市立農業高等学校開校。芦別岳山麓に野営場オープン。
1968 (昭和43)	山部中学校に簡易プール設置。国営総合かんがい排水事業山部ずい道工事完成。
1969 (昭和44)	富良野信用金庫山部支店新築記念式。
1970 (昭和45)	第1回山部地区市民スポーツ大会開催。
1971 (昭和46)	市立養護老人ホーム「寿光園」開園。農業高校専攻科開設。
1972 (昭和47)	山部郵便局管内の電話自動化なる。
1973 (昭和48)	東京大学演習林創立75周年記念式。山部石綿株式会社閉鎖。
1974 (昭和49)	山部小学校開校70周年記念式典。
1975 (昭和50)	山部南陽地区第1回大運動会。山部地区生活改善センター完成。
1976 (昭和51)	山部農業協同組合ライスセンター完成落成式。山部商工住宅23戸建設。
1977 (昭和52)	山部商工青年部、婦人部結成10周年記念式。農業高校創立10周年記念式、記念誌『十年の歩み』発刊。
1978 (昭和53)	山部厚生病院歯科診療開始。山部農業協同組合創立30周年記念式。
1979 (昭和54)	太陽の里オープン。山部中学校新校舎・体育館の改築落成と開校32周年記念式。
1980 (昭和55)	山部中学校の新グラウンド完成。
1981 (昭和56)	山部女性ドライバークラブ誕生。
1982 (昭和57)	東大演習林のセミナーハウス開所式。太陽の里に『ふれあいの家』オープン。
1983 (昭和58)	山部農民連盟設立35周年記念式。富良野農業高校全日制に転換。山部消防庁舎落成。山部市街地の簡易水道一部給水開始。
1984 (昭和59)	屋外水泳プール完成。山部市街地に簡易水道完成。
1985 (昭和60)	有機物供給センター試験操業開始。山部太陽の里に野外音楽堂が完成。
1986 (昭和61)	東大演習林内でマツクイ虫が異常発生。山部駅無人化。
1987 (昭和62)	山部小学校校舎改築完成と開校80周年記念式。富良野農業高校開校20周年記念式。山部の史跡調査開始。
1988 (昭和63)	山部駅舎が山小屋風に完成。山部福祉センター完成。第1回山部ゆきんこまつり開催。山部今日後研究会発足。固形燃料製造施設完成。
1989 (昭和64) (平成元)	山部第一小学校開校80周年。山部公民館南陽分館完成。
1990 (平成2)	山部公民館北星分館完成。山部西地区コミュニティセンター完成。
1991 (平成3)	山部厚生病院医師2名体制。山部第二小学校開校80周年。山部菊の会創立10周年記念式。
1992 (平成4)	山部郵便局局舎新築落成。大本北海本苑開教百年慶祝春季あしわけ大祭。
1993 (平成5)	山部中央公園完成・開園。山部太陽の里・花き畑にラベンダーの苗2万株植栽。第1回ふれあい祭り。
1994 (平成6)	
1995 (平成7)	山部第二小学校閉校。山部保育所新築落成。

年	できごと
1996 (平成8)	山部南地区コミュニティセンター落成。 山部文化協会創立50周年記念式典。
1997 (平成9)	山部町農業協同組合創立50周年記念式典。
1998 (平成10)	山部市街地区の「山部公共下水道事業」に着手。アートファーム南陽館で第1回石彫教室開催。
1999 (平成11)	山部第一小学校開校90周年記念式典。芦別岳に本格的な山頂標が設置される。太陽の里パークゴルフ場が国際パークゴルフ協会の公認コースに。
2000 (平成12)	富良野沿線6農協が合併し、「ふらの農協」誕生。山部地区デイサービスセンター竣工式。
2001 (平成13)	富良野農業高校閉校。
2002 (平成14)	山部1区～15区が「北星・桜丘・中央・共進・南陽」へ。 第1回クリエイターズマーケット(生涯学習センター)。
2003 (平成15)	富良野市生涯学習センターが旧富良野農業高校跡地にオープン。 市民球場オープン。寿光園移転新築。旭川信用金庫山部支店廃止。
2004 (平成16)	台風16号・18号で甚大な被害。山部まちおこし委員会発足。
2005 (平成17)	山部厚生医院を閉院。山部コミュニティーカー運行開始。 山部小学校100周年「親子ふれあいウォーク」。 太陽の里「ふれあいの家」に指定管理者制度導入。
2006 (平成18)	4つの老人クラブ会員による「第1回ふれあいスポーツ交流会」
2007 (平成19)	
2008 (平成20)	山部第一小学校閉校。寿光園が指定管理者による運営へ。 消防山部出張所に救急車配置。
2009 (平成21)	ふらのやまべ美ゅーじあむオープン。
2010 (平成22)	山部地域観光振興計画策定(平成22年度～31年度)。 山部支所が山部福祉センターに移設。 太陽の里パークゴルフ場が36ホールへ拡大・オープン。 振興協議会内に移住定住推進部会設置(空き家情報の収集・発信、移住者フォロー)。
2011 (平成23)	山部市街地区住居表示開始。 振興協議会内に地域魅力アップ推進部会設置(山部地域の潜在的な魅力の再発見 観光振興による地域活性化) まるごと体験村へ。 山部産米原料の「ゆーふれ」が日本酒品評会で金賞受賞。
2012 (平成24)	NPO法人山部まちおこしネットワーク設立(H24.2.6)。 山部@まるごと体験村の設立(H24.4.1)。 山部地域活性化補助金が40万円から240万円へ拡大。 山部川橋架け替え工事完了。 富良野市営住宅ユーフレ団地1棟8戸完成。
2013 (平成25)	山部自然公園太陽の里全体(ふれあいの家・パークゴルフ場・キャンプ場・農村公園)の運営管理を指定管理に(山部商業協同組合)。 旧山部支所庁舎(旧山部町住民センター)解体。